第 49 回放送番組審議会議事録

１.開催日時

2022年10月18日(火)

２.開催場所

富山電気ビル5階中ホール

３.出席者

出席委員（敬称略）

委員長

長尾治明（富山国際大学名誉教授）

副委員長

今川清司（富山商工会議所産業振興部　部長）

委員

栗山朋子（富山市企画管理部広報課　課長）

島川智子（株式会社島川　取締役）

原井紗友里（株式会社 Oz Links　代表取締役）

舟本幸人（一般社団法人富山県芸術文化協会　副会長専務理事）

水上庄子（富山ユネスコ協会　副会長）

武内孝憲（株式会社牛島屋　代表取締役社長）※書面参加

４.議題

- 2022年度上期の自主制作番組について
- 番組視聴 新番組「防災スイッチ ON！とやま」
- 前回審議会でのご意見に対する取り組み
- 自主制作番組全般について意見交換

【主な意見】
① 新番組「防災スイッチ ON！とやま」について
（番組内容）
・構成や時間(15分)が適切で、ナレーションも聞き取りやすく良い番組。
・地域で防災講習会を開くきっかけになる役立つ情報が聞けた。
・防災への危機意識が低い地域であり、「まずは始めてみる」という意味が込められた番組タイトルは好印象だった。
・視聴者により興味を持ってもらうには、冒頭に災害シーン（インパクトのある映像）を組み込むなどの工夫が必要と思われる。（番組の情宣・価値向上）
・見てもらうためには、もっと事前に宣伝することが必要だろう。
・単に見てもらうだけではなく、番組のポイントや紹介したツール(マイタイムラインなど)をスマホに保存できるようにするなど、視聴後にも活用できる工夫を考えてほしい。
・防災は高齢者に焦点が当たりがちだが、学校教育での番組素材活用や保育所･幼稚園の保護者をターゲットに取材するなど、もっと幅広い層に関心を持ってもらうように努力してほしい。

② その他の要望・意見など
・３年ぶりに開催された「越中八尾おわら風の盆」の生中継は高視聴率だったと思う。観光協会を通して YouTube 配信もされた。来年はより多くの人に見てもらえるように、単なる生中継だけではなく、もっと工夫を凝らした番組制作を希望したい。
・立山黒部アルペンルートの除雪作業を追ったドキュメンタリー番組は、富山県オリジナルの貴重な番組であり、継続的に追いかけてほしい。
・スポーツ番組が多く取り上げられている印象だが、芸術文化関係番組の増枠をお願いしたい。